

業界2017年の見通し

会員企業 景気動向アンケートより

産業界ではIoTの広がりが期待されるなか、幕を明けた2017年。2020年東京オリンピックに向けた産業の活性化や電力に続くガス小売自由化、自動車ではADASの加速、AIの新技术とロボット市場の活性化等々、トピックスが挙げられる。

そんな2017年、会員各社はどのように受け止め、どう飛躍に向かおうとするのか。「景気動向アンケート調査」から企業の現状、業界予測を展望する。

| 事業内容 | 社 |
|-----------------|----|
| 組込みシステム開発・受託 | 33 |
| 組込みソフト開発・受託 | 63 |
| 組込みハード開発・受託 | 26 |
| 汎用系ソフト開発・受託サービス | 24 |
| 情報サービス | 15 |
| Sler | 8 |
| OEM(製造) | 4 |
| コンサルティング | 10 |
| 商社 | 8 |
| ベンダ・メーカー | 13 |
| その他 | 7 |

表1 回答企業の主たる事業(複数回答)

Q. 2016年の貴社の業績はいかがでしたか?

前回の結果では「非常に良かった」「よかった」の合計が過半数を超えたが(52%)、今回は35%に留まっている。その分、“前回並み”と受け取れる「普通」が半数となった。また「非常に悪かった」という回答もあった。

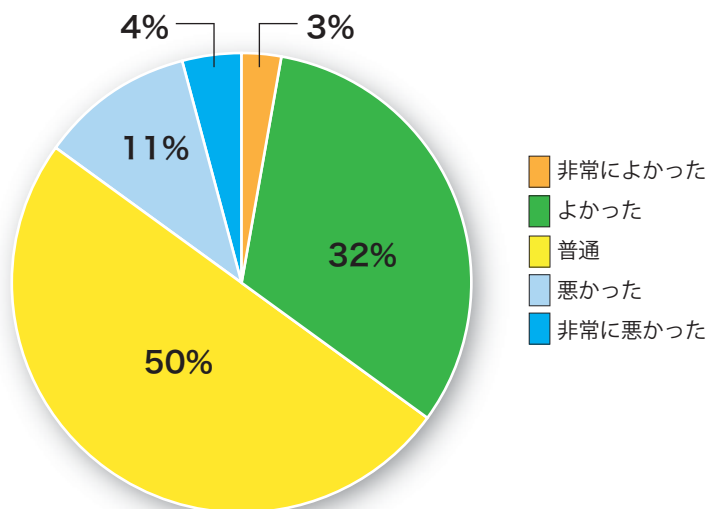


図1 2016年の貴社の業績はいかがでしたか?

Q. 前年と比較して2016年の業績は?

この設問でも前回過半数の57%を占めた「非常に良かった」「よかった」の合計が41%に留まり、「普通」が30%から38%に上昇している。また「悪かった」「非常に悪かった」の合計が20%を超え(前回は「悪かった」13%)、全体的に2015年1月の回答(2014年業績)と酷似したバランスになっている印象。

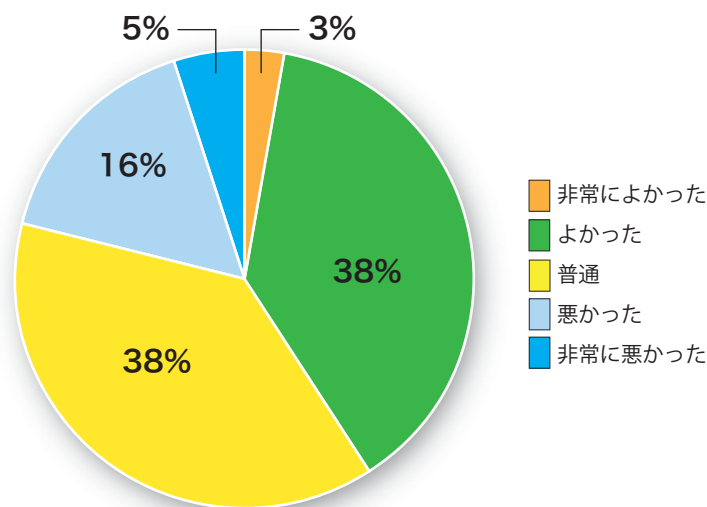


図2 前年と比較して2016年の業績は?

Q. 2016年業績の伸び率は？

伸び率で見ると、プラス成長に「0%（変化なし）」を加えた回答は、前回（89%）に続き83%と8割を超えているが、内訳は異なる。「9～0%」が10%増え45%に、「20～10%」が20%減少し15%にと大きな変化が見られた。マイナスとなった企業は17%と、前回（11%）より6%増える結果となった。

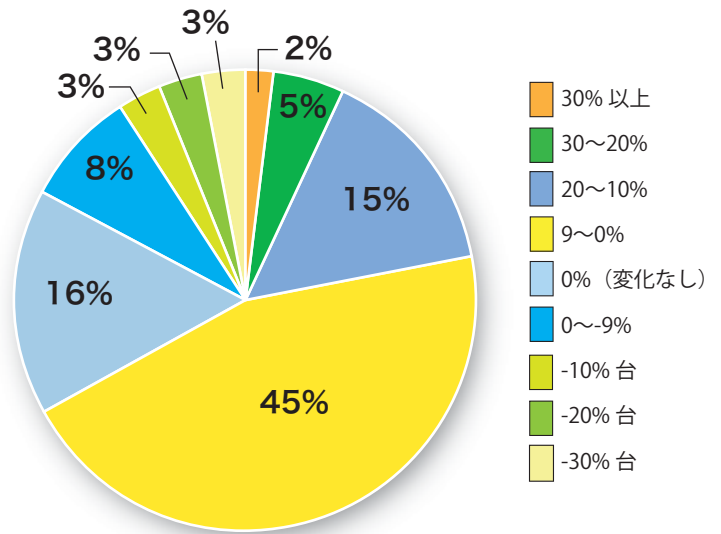


図3 2016年業績の伸び率は？

Q. 業績に貢献した部門は？

業績に貢献、または補完した部門を問う質問では、ここ数年最上位だった「製作・製造」に代わり、前回より5%増えた「研究・開発」が最上位となった。「製作・製造」は3年連続で減少。3番目の「営業」も年々回答が増えている（前回21%）。なお「その他」には「人事派遣」「通信工事・リユース」等の回答が挙がっている。

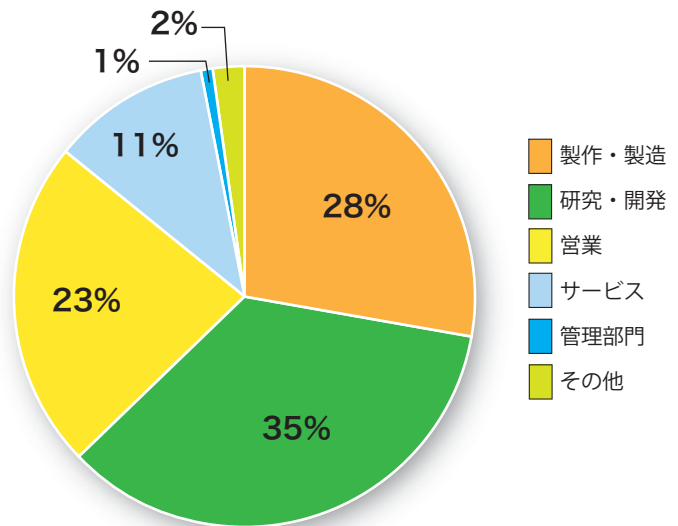


図4 業績に貢献した部門は？

Q. 今後補強したい部門は？

最上位はここ数年連続で「研究・開発」となり、前回（19%）から6%増えた「営業」が続いた。前回まで2番手だった「製作・製造」は22%から15%に減少し、前回倍増の14%と大きく増えた「サービス」が今回も17%と増え3番目に順位を上げてきたのは興味深い。

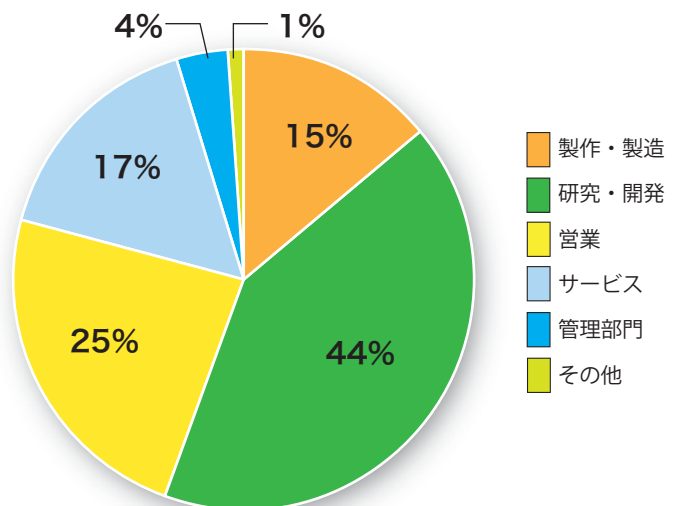


図5 今後補強したい部門は？

Q. 円安や株価、また国際情勢による影響は？

円安や株価、国際情勢による影響を受けた企業では、「円高の影響を受けた」との回答が前回の2%から17%に大きく伸びた。今年は米大統領や韓国大統領の交代など大きな動きがあり、国際情勢も気になる。

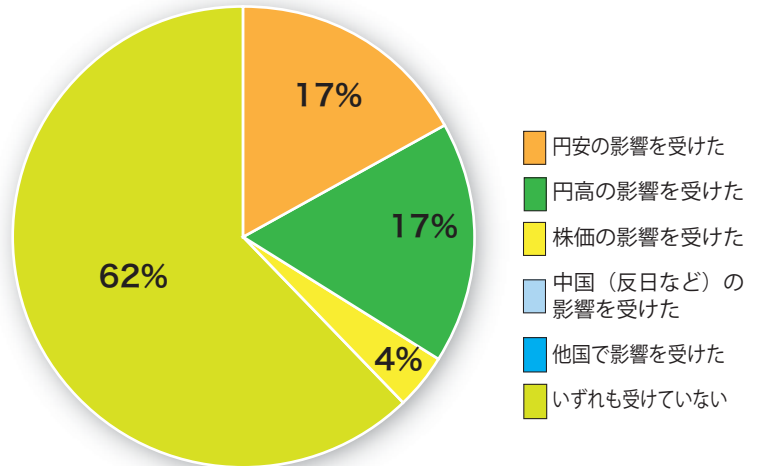


図6 円安や株価、国際情勢による影響を直接受けましたか？

Q. 技術者の雇用状況は？

技術者・従業員の雇用状況を問う質問では、前回同様「不足（積極的に採用していく）」に最も多く回答が集まった。前回の76%からやや減少したとはいえ、技術者不足は大きな課題。採用は積極的に考えていることが見てとれる。

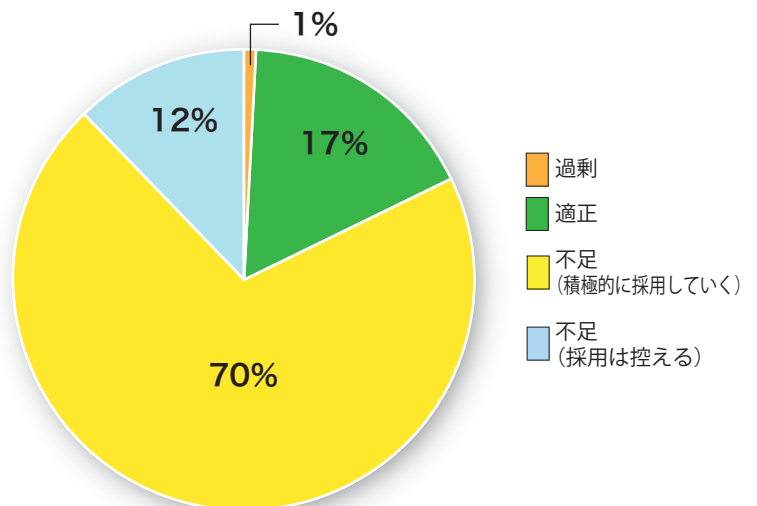


図7 技術者の雇用状況は？

Q. 2017年組込みシステム関係の景況は？

2017年の組込み業界の景況については、「非常に良い」「良い」の合計が47%。過半数を超えた前回回答（53%）より若干減少はしたものの、上向きと見る企業が多い。反面、自社業績の影響か、「悪い」「非常に悪い」とする回答も増えている。

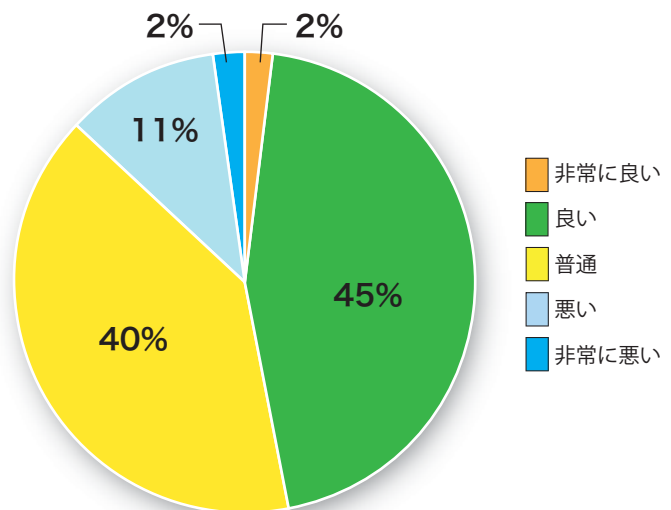


図8 2017年組込みシステム関係の景況は？

Q. 2017年の貴社の業績は？

業界の景況同様に自社の業績も、前回より若干減少したものの「非常に良い」「良い」と見る回答が44%となった。「悪い」とする回答が8%あるが、総体的に、業績は上向き傾向と見ていると言える。

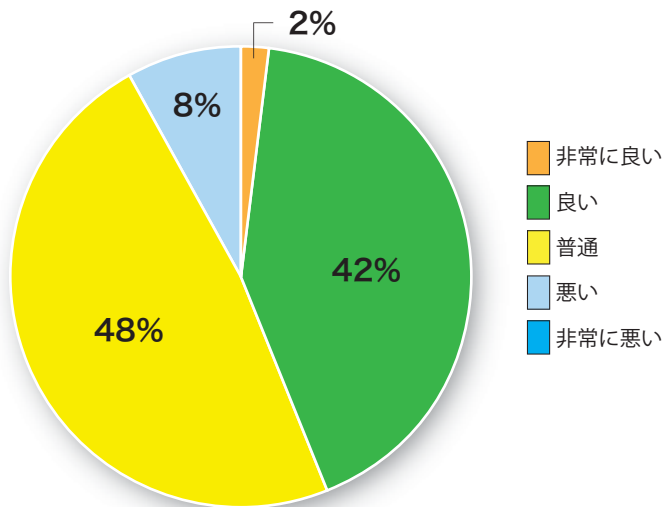


図9 2017年の貴社の業績は？

Q. 貴社が成長を期待する分野は？

成長を期待する分野では「オートモーティブ、交通システム」「医療、ヘルスケア」が前回並みの回答を集め上位に。前回も13%と年々増えていた「モバイル、ウェアラブル」が8%に減少している。また、今回から追加された「社会インフラ」には8%の回答が集まった。

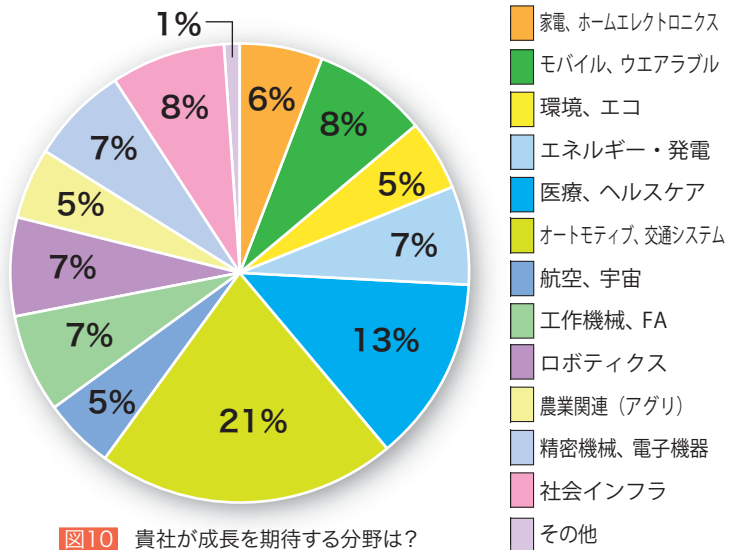


図10 貴社が成長を期待する分野は？

Q. 2017年貴社にとってのキーワードは？

この1年の自社にとってのキーワードは、キーテクノロジーや応用分野に類するものと、自社の環境や意識改善に類するものに大別されるワードがあがった。それぞれでのキーワードを取り上げてみた。

■キーテクノロジー、応用分野

- IoT
- AI
- ICT
- ビックデータ
- ロボット技術
- セキュリティ
- Linux
- FPGA
- VR
- GNSS
- 自動車、車載
- ADAS
- 環境
- エネルギー
- 医療・ヘルスケア
- 防災IOT
- インバウンド関連

■自社の環境改善・意識改善

- 成長ビジネスと新規顧客開拓
- 新規分野への更なる浸透
- 新たな取組・挑戦
- 人材育成による体制強化、拡大
- 事業規模の拡大
- 組込み技術者のレベルアップ
- 新規取引先
- エネルギーソリューション
- 顧客満足
- 選択と集中
- 新製品
- 構造転換